

第 37 回住総研シンポジウム
東日本大震災復興支援事業

「まちなか居住」の魅力を考える
—持続可能な都市住宅地のあり方を考える—

2013 年 7 月 5 日（金） 13:30 ~ 17:00

大阪市立住まい情報センターホール (3 階)
(大阪市北区天神橋 6 丁目 4 - 20)

一般 1000 円 学生 500 円

※参加費はすべて東日本大震災復興義援金として被災地にお送りいたします。

主旨説明

森本 信明 (近畿大学名誉教授 / 住総研研究運営委員会委員長)

講演 (講演順)

角野 幸博 (関西学院大学教授)

まちなか化による郊外の再生

谷 直樹 (大阪市立大学名誉教授 / 大阪くらしの今昔館館長)

いきている長屋ぐらし - 路地・つきあい・地藏盆 -

坂本 昭 (建築家 / 近畿大学特任教授)

まちなかに暮らす - 現代のまちなか居住 -

市川 禮子 (社会福祉法人きらくえん理事長)

まちなかでの高齢者の豊かな暮らし

- 地域の中でひとりの生活者としての暮らしを築く -

講演のタイトルは変更されることもありますので、予めご了承ください

「一般市街地」のすまいと居住を再評価する

平成二五年度重点テーマ連続シンポジウム

VOL.1

主催 一般財団法人住総研

Housing Research Foundation JUSOKEN 住総研



プロフィール

森本 信明 近畿大学名誉教授

1971 年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。
1975 年信州大学農学部助手、1978 年建設省建築
研究所建設経済研究室長、都市開発研究室長、建
築生産研究室長を経て、1991 年近畿大学理工学
部助教授、のち同学部教授。2011 年同大学建築
学部(新設)教授、2013 年 3 月同学部定年退職、
現在に至る。
主な著書に、『まちなか戸建て一持ち家社会のま
ちづくり』(学芸出版社/2008 年/共著)、『賃
貸住宅政策と借地借家法』(ドメス出版/1998 年)、
『都市居住と賃貸住宅—サブライサイドからの分
析』(学芸出版社/1994 年)、他。

- 参加費 一般 1000 円 学生 500 円
シンポジウム当日に受付にてお支払いください。
参加費はすべて東日本大震災復興義援金として被災地にお送りします。

- 申込方法
住総研 HP (http://jusoken.or.jp/symposium/jusokensympo_37.html) または、
下記にご記入の上、FAX でお申し込みください。

- 申込締切 7 月 1 日(月) 定員 150 名(先着順)

- お問い合わせ
一般財団法人住総研
156-0055 東京都世田谷区船橋 4-29-8
TEL:03-3484-5381/FAX:03-3484-5794
e-mail:sympo@jusoken.or.jp

このシンポジウムは継続職能研修(建築士会 CPD)認定プログラム(3 単位)です

今年度住総研では『「一般市街地」の住まいと居住を再評価する』を重点テーマとし、様々な活動を行っています。研究助成のほか、年 3 回の住総研シンポジウムの開催に加え、当財団図書室でも関連資料を揃えております。当財団ホームページにて関連資料を掲載しておりますのでご覧ください。

谷 直樹 大阪市立大学名誉教授 / 大阪くらしの 今昔館館長

1979 年京都大学博士課程単位取得退学、工学博士。
1979 年堺市博物館主任研究員、1982 年大阪市立
大学生活科学部講師、助教授、教授を経て、2013
年 3 月定年退職、現在に至る。
主な著書に、『いきている長屋』(大阪公立大学共
同出版会/2013/編著)、『祭りのしつらい』(思文
閣出版/2008/共著)、『町に住まう知恵』(平凡社
/2005)、『大工頭中井家建築指図集 中井家所蔵
本』(思文閣出版/2003)、『住まいのかたち暮らし
のなりたい』(平凡社/2001)、『阪神・淡路大震災と
歴史的建造物』(思文閣出版/1998/共著)、『ま
ちに住まう一大阪都市住宅史』(平凡社/1989)、他。

角野 幸博 関西学院大学教授

1984 年大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻
修了。福井工業大学非常勤講師、電通勤務、武庫
川女子大学生活環境学部生活環境学科を経て、
2006 年~現職。
主な著書に、『災害対策全書③復旧・復興』(ぎょ
うせい/2011/共著)、『路地研究 もうひとつの
都市の広場』(鹿島出版会/2013/共著)、『都心・
まちなか・郊外の共生』(晃洋書房/2010/共著)、
『都市再生・街づくり学』(創元社/2008/共著)、『日
用品の 20 世紀』(ドメス出版/2003/共著)、『郊
外の 20 世紀』(学芸出版社/2000)、『近代日本の
郊外住宅地』(鹿島出版会/2000/共著)、他。

坂本 昭 建築家 / 近畿大学特任教授

近畿建築構造研究所を経て 1982 年坂本 昭・設計
工房 CASA 設立、2012 年~現職
受賞:2001 年日本建築学会作品選奨大阪建築コ
ンクール第 1 部門大阪府知事賞大阪建築コンク
ール第 2 部門大阪府知事賞、関西建築家大賞、日
本建築士会連合会賞優秀賞、2003 年日本建築学
会作品選奨、高岡市都市美景観賞 最優秀賞 2009 年
日本建築士会連合会賞優秀賞、2012 年日本建築
学会作品選奨、太子町新庁舎建設プロポーザル
最優秀賞、人間サイズのまちづくり賞 兵庫県知事
賞、他。

市川 禮子 社会福祉法人きらくえん理事長

1974 年女性教師のための乳児保育所を開設。
1983 年社会福祉法人きらくえんに入職、特別養
護老人ホーム「喜楽苑」の施設長代行。1988 年
施設長。1992 年西日本初の全準個室・ユニット
化の特養「いくの喜楽苑」開設。阪神大震災直後に、
「ケア付き仮設住宅」を運営。現在も復興公営住
宅に 24 時間体制で LSA を派遣。1997 年「あしや
喜楽苑」施設長。2001 年 1 月法人理事長に就任。
同年 4 月、全個室・ユニット型の「けま喜楽苑」、
2012 年 4 月には同「KOBE 須磨きらくえん」を開設。
同年 10 月には尼崎市に 24 時間地域支援・見守り
の拠点「あんしん 24」を開設。2013 年より多世
代共生のノーマライゼーションヴィレッジ構想に
着手。2003 年度「朝日社会福祉賞」受賞、2005
年度「兵庫県功労者賞」受賞。

■大阪市立住まい情報センターホール



- ・地下鉄「天神橋筋六丁目」駅 3 号出口より連絡
- ・JR 環状線「天満」駅から北へ 650m

参加申込み 締切 7 月 1 日

お名前(ふりがな)

ご所属(□一般 □学生)

ご連絡先(□ご所属 □ご自宅)
(〒 -)

e-mail アドレス

TEL

FAX

住総研 FAX : 03-3484-5794